

めぐり合い交流キャンプ2013 報告

開催日 2013年7月20日(土)～21日(日)

開催時間 1日目集合午前10時 2日目解散 午後5時

開催場所 社会館野外活動センター(岐阜県郡上市八幡町小那比)

協力 愛知県被災者支援センター・愛知県弁護士会・愛知県司法書士会・福島県名古屋事務所・岐阜県郡上市八幡町小那比地区公民会・茶々実ークラブ・名古屋 YMCA・名古屋キリスト教社会館

参加者数 16世帯、大人25名、子ども29名

出身地 神奈川県1世帯、埼玉県1世帯、福島県～福島市2世帯、郡山市1世帯、南相馬市3世帯、いわき市1世帯 不明～7世帯

現住所 豊川市1世帯、一宮市1世帯、蒲郡市1世帯、みよし市1世帯、名古屋市～緑区4世帯、南区2世帯、昭和区2世帯、名東区1世帯、天白区1世帯、北区1世帯、中区1世帯

一日の流れ

一日目

10:00 集合 発達センターあつた

12:00 キャンプ地到着(小那比グループと合流)

入村式 主催者あいさつ 江本潤子実行委員長
歓迎のあいさつ 羽田野小那比自治会長
参加者紹介
諸注意とスケジュール案内

12:30 昼食(お弁当)

魚(あまご)のつかみどり

川あそびなど(晴れていたら) 雨ならば、体育館でゲームなど

15:00 おやつ(スイカわり)

16:00 ゆった～り温泉タイム (ほほえみの湯へバスで行きま～す。)

17:30 夕食準備

(寝る準備～スペース確保、ゴザ・シュラフなどの用意)

19:00 夕食交流野外パーティー(小那比の皆さんが合流します)

キャンプファイヤー・花火・肝試し

21:30 子どもと、もう寝るといふ大人は寝ま～す。

更に飲み、語り合う大人は2次会

二日目

08:00 朝食タイム(ご飯もパンもあるよ)

09:30 川あそび (大人は、朴葉寿司づくり、流しソーメン準備)

12:00 昼食タイム(流しソーメン・朴葉ずし)

13:00 思い出品づくり

14:30 おやつ

14.:50 閉村式

主催者あいさつ(小那比グループとはお別れです)

15:00 名古屋に向けて 出発

1700 発達センターあつた 到着・解散

内容・成果 このキャンプも前年度に続いての交流会でした。通園バス2台と自家用車組みが3世帯、それぞれ分乗して、名古屋市熱田区から岐阜県郡上市小那比地区の社会館野外活動センターに出かけ、ここで1泊2日の野外生活を満喫しました。現地では、村の子どもの親子が3世帯ほど参加し、1年ぶりの再会を喜び合って自然での活動に興じました。今年は、大人もお客様然としているのではなく、役割意識をもって設営から片付け、調理なども行いました。子ども達には 良い夏の思い出となったと思われます。大人も泊まりがけのとりくみということで、深夜遅くまで存分に語り合え、親睦と交流が深められました。

今後の課題と対応

同じ会場での2回目の開催ということで、名古屋キリスト教社会館は寝る時のゴザが新たに用意され、参加者も自ら率先して設営、調理、片付けに動かれたのが印象的でした。震災・原発事故直後の不自由な避難生活を思い起こされ、嫌な思いをする野外生活体験ではないかと心配していましたが、ふるさとに近い環境のもと、キャンプを心より楽しめました。泊まりがけの交流会なので、深夜遅くまで語り合っている大人、子ども達も普段はなかなか味わえないあそびを楽しんでいましたので、県外避難生活が続く限り、今後も継続実施することへの期待は大きいと感じられました。食材も現地調達に徹することで安心感をもって食べてもらえていること、過疎化という問題を抱える開催場所地域との交流という点でも意義深いとりくみと思われます。